

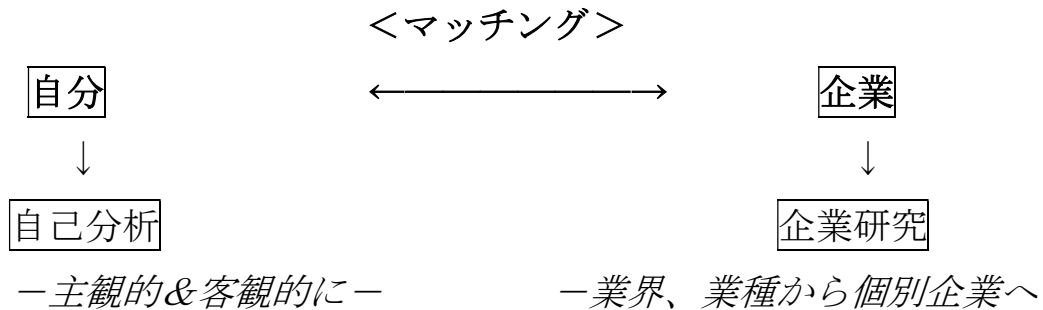
就職活動ガイドンス

六甲台就職相談センター

1. 就職活動とは
2. 自己分析の仕方
3. 企業研究の仕方
4. 就職活動の流れ
5. エントリーシートの書き方
6. 筆記試験について
7. 面接での留意点
8. 内定後の対応
9. 参考資料
 - (1) 内定を取れる学生
 - (2) 相談員からのメッセージ
 - (3) 六甲台就職相談センターについて
 - (4) (社)日本経団連「採用選考に関する指針」

“これから”を見据えて、“今”を大切に！！

1. 就職活動とは



① 過去の自分

- ・過去の振り返り
(経験、興味、趣味、夢 等)

② 現在の自分

- ・自分の特性、能力
(強み、持ち味 等)

③ これからの自分

- ・仕事選びの軸
(何がしたいか?
仕事において重視することは? 等)

① 業界、業種

- メーカー、金融、商社、
インフラ、サービス、
マスコミ・・・

② 企業の特徴, 強み, 魅力

<書き出して顕在化させる>

<客観的リサーチから
主観的イメージへ>

2. 自己分析の仕方

(1) 過去の自分

A4用紙に下記の①を左側に時系列で書いていく。その横に下記②の背景を記載していく。

①過去の経験を時系列で棚卸する

i. 幼少期

ii. 中学時代～現在

②その時何を思い、何を考えたかを振り返る

<振り返る視点>

i. 成功体験

頑張ったこと、得意だったこと、夢中になったこと等を振り返りその経験を通して何を得たか

ii. 失敗経験

失敗した経験、挫折した体験を振り返りそれをどう乗り越えてきたか

iii. 興味、趣味、夢

惹かれたこと、物、人物等を振り返り昔からの夢は何だったのか

(2) 現在の自分

① 持ち味、強み

・自分の特性、能力を掘り下げて他に誇れる自分の持ち味、強みは何かを考える。→**自己PRポイント**

② 改善点、弱み

・自分の行動、姿勢を振り返り、改善、向上させたい点はどこかを考える

(3) これからの自分

① 何がしたいか

- ・ 社会に出て自分は何をしようとしているのか、何がしたいのかをまずはピュアに考える。

② 仕事、働くということにおいて重視することは何か

- ・ どのような働き方をしたいのか
- ・ 社会にどう貢献したいのか、どんな役立ち方をしたいのか
- ・ 働く場所は
[世界、日本、地域、地元]
- ・ 自分の価値観、人生観、職業観は
[お金、やりがい、仕事の面白さ、自己成長、社会貢献、家庭、ワーク・ライフバランス等]



仕事選び、企業選びの軸を定める

3.企業研究の仕方

(1) セミナーから

① 学内セミナー

- ・ 六甲台学生評議会主催の業界セミナー
[パネルディスカッション、個別企業説明会、座談会]
- ・ キャリアセンター、キャリアサポートセンター主催のセミナー [合同説明会、個別企業説明会、GD 練習会 他]
- ・ 六甲台就職相談センター後援の内定者交流セミナー
[企業の人事担当者も交えて、内定者との交流を中心としたセミナー]

③ 学外セミナー

- ・就職情報会社等が主催する合同セミナー
- ・個別企業セミナー

(2) インターネットから

① 就職情報サイトに登録

- ・サイトからの情報、企業別の情報

② 各企業のホームページ

(3) 先輩から

① OB、OG

- ・クラブ、サークル、ゼミの先輩
- ・卒業生名簿（極めて限定的で少数）
- ・企業の人事部に直接交渉

② 六甲台就職相談センター相談員

- ・7名全員が民間企業OBで凌霄メンバー

(4) その他

- ・書籍、雑誌、新聞、求人票



**好きな企業を見つけ、その企業の魅力と自分が
やりたいことを追求する<主観的イメージ>**

4.就職活動の流れ

<時期>	<項目>	<内容>
4月(3年時)	就職情報サイトに登録	・リクナビ、日経ナビ、マイナビ、学情ナビ等
	インターンシップ	・エントリーシート提出→面接→合格→実施→レポート提出
	プレエントリー	・企業サイトから各自で登録
	セミナー (学内、学外)	・合同セミナー
	企業別セミナー	・企業別セミナー
	正式エントリー	・企業サイトからエントリー (エントリーシート作成)
	企業別説明会	・筆記試験、グループ面談、
	リクルーター対応	座談会、質問会等
	面接、選考	・筆記試験、適性試験、 グループワーク、
	内(々)定	集団面接、個人面接
	・口頭、電話、文書	・口頭、電話、文書
	・内定承諾書、内々定者懇親会	・内定承諾書、内々定者懇親会
10月(4年時)	内定	・内定式、内定者懇談会
		・入社前研修会
		・入社前健康診断
4月	入社	

5.エントリーシートの書き方

(1) 形式

- ・ Web 上で入力し送信
- ・ Web からフォーマットをアウトプットして自筆で記入して郵送する

(2) 内容

- ・ 各企業によって質問は多様であるが、ほとんどの企業でされる定番質問は
 1. 「自己PR」
 2. 「学生時代に力を入れたこと」
 3. 「志望理由」
- ・ なかでも 1. 「自己PR」、2. 「学生時代に力を入れたこと」は企業が学生を評価する上での基本事項である。
- ・ 各社共通で応えられる項目でもあり、この回答をしっかりと確立することが重要である。

(3) 作成するときの留意点

- ・ 自分中心の主観的で冗長な作文になっていないか。
- ・ 客観的に見て評価できる内容か。
- ・ 評価されるポイントが明確になっているか。
- ・ 簡潔、明瞭な文章になっているか。
- ・ 用語の誤った使い方、繰り返しの語句の使用、誤字・脱字はないか。

(4) 企業が評価する視点

- ① 「自己PR」
 - ・ 持ち味、強み
- ② 「学生時代に力を入れたこと」
 - ・ 学生時代をどんな思いを持ってどう過ごしてきたか
 - ・ その成果は

(5) 書き方の一例

- ① 「自己PR」
 - 自分の持ち味・強み→その説明→強みが発揮された具体例
→締め
- ② 「学生時代に力を入れたこと」
 - 結論
 - 思い（きっかけ、動機、目的）
 - プロセス（具体例、自ら汗をかいたこと、独自性）
 - 成果・結果（客観的な成果、学び得たもの）

6.筆記試験について

(1) 能力検査

- ・ 言語力テストと非言語力テスト
- ・ S P I

(2) 適性検査

- ・ 性格、行動様式、コンピテンシー、モチベーション等を測定。

(3) 一般常識テスト

- ・ 時事問題や政治、経済、社会問題などの一般常識をテスト。

7.面接での留意点

(1) 個人面接

<留意点>

① 簡潔明瞭にゆっくりと

- ・面接官に言いたいことを正確に伝えるためにはポイントを絞って簡潔明瞭に話すことが大切。だらだらと冗長な応答はマイナス。
- ・面接の場では緊張してつい早口になりがちです。努めてゆっくりとしゃべるようにしてください。

② 自分の言葉で素の自分を出す

- ・面接は正解を求める場ではありません。企業が貴方を評価する場ですから、あくまで自分自身の思いを自分の言葉で話すことが肝要です。どんなに美しい言葉を使っても借り物の言葉は面接官に響きません。

③ 熱意をこめて

- ・「自分の持ち味を理解してほしい。」「御社に入社して全力で頑張る決意です。」という覚悟と意欲をしっかりと相手の顔（目）を見て、熱意をこめてアピールすることです。

<面接でのNG—採用したくない学生の一例—>

- ・目を合わせない
- ・挨拶ができない
- ・名前を名乗らない
- ・準備したことしか話せない
- ・思いがけない質問に固まってしまう
- ・他社の内定を持っていることを自慢する 等々

(2) 集団面接

<留意点>

- ① あくまで個人面接のつもりで
- ② 他の人の応答を気にせず、前記個人面接の留意点を心がける

(3) グループワーク

課題を提示されてグループでディスカッションして結論を出し、代表者をメンバーで決めて発表するという形式が用いられる。

通常はリーダーレスで行われ司会や進行役は会社からは指名されずメンバーで話し合っ決めて決めるよう指示されることが多い。

<企業が評価する視点>

① 個人的能力

- ・コミュニケーション能力（傾聴力、理解力、口頭表現力等）

② 集団貢献力（プロジェクト力）

- ・リーダーシップ、フォロアーシップ、メンバーシップ
- ・課題達成力
- ・チームワーク
- ・全体進行への目配りと言動（議論の方向性、時間管理等）

<留意点>

- ① 他のメンバーの意見をしっかり聴いて、自分の意見を簡潔明瞭に述べる。
 - ・発言の多さを競うのではない。だらだらと冗長な意見はマイナス評価となる。

② グループとしての進行を絶えず留意しておく。

- ・グループワークは決められた時間の中でグループとして一定の結論を出すことが与えられた命題である。したがってメンバーシップとしてもこの命題に対して効果的に関与しているかどうかを評価されている。建設的な異なる見解や反対意見は良いが、全体の進行を乱す発言はマイナスである。絶えずグループとしての全体的な進行に配慮し、タイムリーに効果的な意見を述べることが肝要。

8.内定後の対応

(1) 内定承諾書、入社誓約書

- ・内定が出た時に会社から内定承諾書や入社誓約書に署名、捺印を求められることがあります。

この書類はその後内定辞退となった時に、法的に制約となるものではありませんが、ご両親や先生、また六甲台就職相談センターの相談員等とよく相談の上、結論を出してください。

(3) 内定辞退

- ・複数の内定をもらった後に辞退する場合はできるだけ早くまずは電話で連絡してその理由を説明し、誠意をもってお詫びしてください。

もし、会社から来社して説明してほしいと言われればできる限り出向いて説明してください。

9.参考資料

(1) 内定を取れる学生（＝企業が評価する視点）

－就業力(「考え抜く力」「チームで働く力」「前に踏み出す力」)のある学生－

① 学生時代に自らの意思で打ち込んだものがある

- ・学業 ・ゼミ活動 ・留学 ・クラブ ・サークル ・課外活動
- ・ボランティア ・アルバイト 等々

[思い、プロセス、成果を評価]

② 仕事に必要な基礎的資質と能力を持っている

<基礎的資質>

- ・責任感 ・誠実さ ・主体性 ・チャレンジ精神 ・バランス感覚
- ・ストレス耐性 等々

<能力>

- ・コミュニケーション能力 ・課題達成力 等々

[ポテンシャル、可能性を評価]

③ 客観的な武器を持っている

- ・資格 ・学業成績 ・語学力（TOEIC、留学経験）
- ・パソコンスキル（ワード、エクセル、パワーポイント等）

[顕在能力を評価]

(2) 相談員からのメッセージ]

1. 今しかできないことに積極的に取り組むこと
(学業、ゼミ、クラブ・サークル活動、留学 等)
2. 読書に励み新聞を読みこなすこと
3. コミュニケーション能力を養うこと
4. 語学とパソコンスキルの向上に取り組むこと
5. 就職情報サイトに登録しておくこと

“これから”を見据えて、“今”を大切に！！

(3) 六甲台就職相談センターについて

◆社会科学系の学部生・大学院生を対象に就職活動を支援しています。

[概要]

場 所：アカデミア館2階

相談日：月曜日から金曜日の10:00～17:00（祝日、年末年始は休み）

電 話：078-803-7202

E-mail：rys-shushoku@edu.kobe-u.ac.jp

H P：<http://www.kobe-u.com/ryoso/student/job/>

相談員：7名の民間企業OBの凌霄メンバーが交代で毎日1～2名体制

竹内雅弘	経営学部卒（日本毛織OB）
新井啓介	法学部卒（日本生命OB）
浅田恭正	経営学部卒（大阪ガスOB）
絹田清昭	経済学部卒（川崎重工OB）
浅井隆司	経済学部卒（三菱UFJ銀行OB）
大槲徹男	経済学部卒（住友商事OB）
和又真一郎	法学部卒（丸紅OB）

[活動内容]

① 個別指導

<就職活動指導>

- ・就職活動の仕方と流れ
- ・自己分析の仕方
- ・エントリーシートの指導、添削
- ・面接の心構えと留意点（模擬面接）
- ・業界、業種、企業の絞り方、選び方
- ・インターンシップの応募
- ・内定者の紹介
- ・集団討論、集団面接の留意点

- ・内定後の対応（複数内定の対応、内定辞退の仕方） 等々

<その他全般指導>

- ・企業と仕事の実態
- ・大学生活の過ごし方
- ・働くことの意義
- ・本人の適性 等々

② 備付資料、設備

- ・求人票、募集要項（一部）
- ・OB・OG リスト
- ・書籍（業界地図、職種別、SPIテスト 等々）
- ・各種資料
 - （「就職活動ガイダンス」
 - 「入社試験・論作文の要領」
 - 「就職情報サイトの紹介」
 - 「TOEIC参考資料」等々）
- ・セミナー等の案内、ポスター掲示 等

以上

